

定例市長記者会見録

日 時：1月27日(木) 午前11時～11時30分

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、中部経済新聞

本日の案件は4つです。

1番目は「市立中学校の新制服生地の手切れを使用した尾州SDGsグッズの販売」です。今年4月から市立中学校19校で一斉に、時代の変化に合わせた新しい制服に変わります。

市ではこれまで、地域の繊維産業による製品がより多く使われるよう支援してきました。今回、市内の学生服メーカーである松永様に、洋服を製造する際に発生する手切れで小物などの派生商品を製造していただけることになり、一宮地場産業ファッションデザインセンター(FDC)が販売することになりました。トートバッグとネクタイには一定量の生地が必要ですので手切れは使用していません。それ以外のネックストラップ、ポーチ、ペンケースは、これまで廃棄されていた手切れを利用して商品化します。2月17・18日に一宮市総合体育館で開催する「総合展『THE尾州』」で限定販売し、3月1日からは、FDCと一宮駅構内の観光案内所でも販売します。廃棄物を減らすというSDGsのテーマも踏襲しており、どのような反響があるか楽しみにしているところです。今後もアイデアがあれば、“まずはやってみる”という姿勢で取り組んでまいります。

2番目は「通学路における交通安全の更なる確保」の実施です。昨年6月に千葉県八街市で発生した大変悲しい交通死亡事故を受け、9月と10月に警察と県の一宮建設事務所、市の学校教育課・小学校関係者・地域交通課、地域の方などと市内42の小学校において合同点検を行い、安全対策箇所をとりまとめました。このうちの市所管分につき、令和3・4年度で対策を実施します。安全対策箇所334カ所のうち一番多いのは道路関係による対策で、県道は県、市道は市といった各道路管理者において、カーブミラーやガードパイプなどを設置していきます。このような対策は、地元市民の皆さまの土地をお借りしたり、施設設置により車の通行に影響が生じたり、多くの面で市民の皆さまのご協力が不可欠となります。通学路の交通安全という重要課題ですので、地域の皆さまの合意形成を含めた機運づくりが進むようお願いしています。

3番目は「2021(令和3)年に3事業所の企業立地を支援しました」です。企業の誘致や市内企業の流出防止のため補助メニューを用意し、企業の立地促進を支援しています。昨年は例年に比べ少し低調な結果となっています。コロナ禍であり、企業の設備投資への意欲が落ちていたと推察しています。株式会社ビバホーム様のように支援の対象外ながらも本市に進出していただけた例もあり、他にも企業進出の動きが活発です。今後はV字回復を期待できそうですので2022年分はもっと良い結果をご報告できるものと考えています。

4番目は「北京2022冬季オリンピック出場決定！ 芳家里菜選手(市内在住)を応援し

よう！」です。芳家選手と母校の尾西第一中学校の生徒との交流につき、当初はオリンピック出発前の実施を予定していましたが、計画を変更し、大会終了後に盛大に実施する方向で調整を進めているところです。メッセージ贈呈についても、手渡しではなくオンラインでつなぐなどの方法への変更を検討しています。

※2月3日、芳家選手は公式練習中のケガによりオリンピックを欠場することとなりました。芳家選手の一日も早いご回復をお祈りいたします。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■市立中学校の新制服生地の手切れを使用した尾州 SDGs グッズの販売

(記者) グッズの製造・販売について、メーカーの松永さんのこの取り組みは、初めてのことですが、来年も継続されるのでしょうか？

(市長) 今回は、試行的に実施するとお聞きしています。売れ行きなど市民の皆さまの反応を見て、経営判断されると思います。

(記者) 松永さんが企画製作を行い、FDC は販売だけを行うのですか？

(担当) FDC では、松永さんに限らず尾州産地のメーカーから商品を預かり委託販売をしています。

(記者) 今回のグッズの製作には、市の補助金等はあるのですか？

(市長) 市からの補助金等は、ありません。一宮地場産業ファッションデザインセンターは、市や県などが出資している外郭団体です。尾州 SDGs グッズであり、FDC が地域の尾州産地を応援しようということで今回は、コーディネーター役として販売のお手伝いを行います。

制服を変えることは我々としても肝いりで、生徒・児童の皆さんから投票してデザインを決定するなど、足掛け3年の過程を経てきました。その機運を盛り上げようということで、新しく面白い企画が出てきましたのでご紹介いたしました。

■通学路における交通安全の更なる確保の実施

(記者) 学校と警察による対策とは、どういった対策ですか？

(担当) 学校による対策はソフト面のもので、見守り隊の皆さまに見通しの悪いところや交通量の多いところなど安全対策箇所について、注意深く見ていただくというものです。

(市長) 警察による対策は、横断歩道の移設、歩行者用信号機の新設、交通指導の取り締まりの強化、交通規制による区画線の修繕などと聞いております。

(記者) 道路管理者である市の対策は、ハード面だけなのですか？

(担当) はい、そうです。ガードパイプの設置、注意喚起のための看板設置や路面の赤色塗

装などがあります

(記者) 安全対策箇所を決定したプロセスを教えてください？

(担当) 小学校から対策が必要な箇所がリストアップされ、そのリストアップされた箇所につき実際に現場を確認して決定しました。今後は、より効果的な対策メニューを決めていきます。

■北京 2022 冬季オリンピック出場決定！ 芳家 里菜 選手（市内在住）を応援しよう！

(記者) オンラインで応援メッセージを渡されるとのことですが、それはいつですか？

(市長) Zoom などオンラインで双方向のやり取りをするのではなく、応援メッセージを書いた寄せ書きを写真撮影したデータを、芳家さんにメールで送るというものです。

■3 回目のワクチン接種について

(記者) 3 回目のワクチン接種に向けての状況を教えてください？

(市長) 接種券については、先週 2 万 6,000 通、今週火曜日にも 2 万 6,000 通を発送しています。現在は、2 回目の接種から 6 カ月半を経過した方に発送しています。現在の予約状況を見ながら、医師会など関係者と協議して大丈夫であれば、接種券の前倒し発送をしていきます。

(記者) 3 回目の接種も、街中のクリニックが中心となるのですか？

(市長) はい、約 150 カ所のクリニックが協力していただけます。

(記者) 3 回目接種のワクチンは十分に届いているのですか？

(市長) 現在は届いていませんが、届けていただけるスケジュールは県から示されています。